

☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』

○第54回：2019年10月27日（日）

○ゲスト：音楽ボランティア協会・赤とんぼ
会長 相澤 保正（アザリ ヲササ）さん



写真：相澤さん

○ 放送内容

今回の放送では、今年の8月まで活動されていた「音楽ボランティア協会・赤とんぼ」会長の相澤保正さんをゲストにお招きしました。

相澤さんはこの日、赤とんぼの活動を始めたきっかけやこれまでの活動内容、今後の音楽ボランティアへの思いなどについてお話をしてくださいました。

◆ 音楽で誰かの役に立ちたい！

音楽家である相澤さんは、「近年高齢化が進む社会の中で、特別養護老人ホームなどに入所されている方々になにか楽しみがあるといいのではないかと。そして、自身の専門を生かして楽しみを作ることにはできないか」と考えたことをきっかけに、仲間へ呼びかけ、高齢者や障がい者施設を訪問して入所者と会員と一緒に歌を歌う入所者参加型の音楽ボランティアの活動を始めました。「赤とんぼ」は平成14年8月創設以来、延べ160か所の施設を訪問し、たくさんの方々と共に生命の賛歌を歌い続けてきました。

◆ 参加者も会員もみんな笑顔に☺

赤とんぼの活動の魅力は、なんと言っても「全員参加型」の活動であること。約1時間の活動時間の中で、ピアノやアコーディオンなどの楽器演奏に合わせて、誰もが知っている童謡や唱歌、“懐メロ”などを入所者と会員がみんなで歌います。活動は4つのセクションに分かれていて、ギターやオカリナなどの生演奏を聴くことや、音楽に合わせて身体を動かすリハビリなども取り入れて参加者が多様に楽しめるよう工夫しています。さらに、施設訪問のたびに歳事や季節感に合わせて、その日歌う歌詞を掲載した会員手作りの歌集をプレゼントしています。この歌集の最終号は第154号となり、延べ1万250冊になりました。いわば1万人以上の人々と共に歌ったこととなります。活動を通して参加者と会員がお互いに元気をもらい、みんなが笑顔になる、そんな素晴らしい活動を17年間継続してきました。

◆ 赤とんぼの活動を次の世代へ！

会員の高齢化に伴い、残念ながら活動に幕を下ろすことになった赤とんぼですが、相澤さんは、「認知症の方で普段会話ができない人が歌を歌ったシーンに出会ったことがある、音楽にはそういう不思議な力がある。ぜひ、次の世代が私たちの想いを引き継いで活動を行ってほしい。」と、今後への想いをお話ししてくださいました。